

ウオダス 漁海況速報 No.1405

発行日 平成 17 年 4 月 6 日 <http://www.applenet.jp/aosui/>
 発行 青森県水産総合研究センター TEL 0173-72-2171 FAX 0173-72-2778
 住所 〒038-2731 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字赤石字大和田39-5

4月のウオダス発行日

日	月	火	水	木	金	土
					①	2
3	4	5	⑥	7	8	9
10	⑪	12	13	14	15	16
17	⑱	19	20	⑳	22	23
24	25	②⑥	27	28	29	30

○日本海況予報（4～6月）

対馬暖流域の表面水温は平年並、50m深がやや高め

○日本海沿岸定線観測結果 4 月分

表層、50m層とも平年並、対馬暖流の流勢は平年並

小 泊 (4月1～5日)

ウスメバル	一本釣	74隻	1,982kg
ヤリイカ	棒受網	16隻	801kg

平 館 (4月1～5日)

サクラマス	定置網	61隻	30kg
ヤリイカ			3,997kg

下 前 (3月26～31日)

ウスメバル	一本釣	12隻	282kg
ヤリイカ	棒受網	7隻	364kg

(4月1～5日)

ウスメバル	一本釣	30隻	590kg
ヤリイカ	棒受網	45隻	6,022kg

深 浦 (4月1～5日)

ヤリイカ	定置網	6隻	208kg
(634 kg)	底曳網	6隻	426kg
ウスメバル	一本釣	12隻	372kg
サクラマス	定置網	6隻	228kg

佐 井 (3月21～25日)

ヤリイカ	定置網	18隻	155kg
(164 kg)	底建網	1隻	9kg
マダラ	底建網	3隻	34kg
アブラツノザメ	一本釣	1隻	37kg

(3月26～31日)

ヤリイカ	定置網	7隻	30kg
マダラ	底建網	1隻	13kg
サクラマス	定置網	2隻	1kg
	底建網	1隻	1kg
(5 kg)	一本釣	2隻	3kg
アブラツノザメ	一本釣	1隻	21kg

尻 労 (3月26～31日)

サクラマス	定置網	10隻	1,350kg
(1,548kg)	一本釣	29隻	198kg

(4月1～5日)

サクラマス	定置網	11隻	638kg
(1,508kg)	一本釣	57隻	870kg

八 戸 (4月1～5日)

サケ他	定置網	1隻	214kg
-----	-----	----	-------

大 畑 (3月26日～4月5日)
(取りまとめ中)

○トピックス 珍しい魚の発見情報

4月5日、鰺ヶ沢町赤石沖の水深45m付近の底建網に全長が約1.6m、体重が約8kgのサケガシラが入網しました。日本海側では、本年1月にも小泊村下前沖で再捕されています。

主要魚種の動き

○ヤリイカ (全漁法・4月1～5日)

(日本海)	今回	前回比	漁期累計(8月～)	去年同期比
小 泊	801kg	4450%	7,197kg	289%
下 前	6,022kg	1657%	15,365kg	251%
鰺ヶ沢	4,979kg	933%	247,658kg	171%
大 戸 瀬	7,465kg	128%	274,637kg	174%
深 浦	634kg	35%	13,797kg	70%
(陸奥湾)				
平 館	3,997kg	919%	34,866kg	47%

○サクラマス (全漁法・4月1～5日)

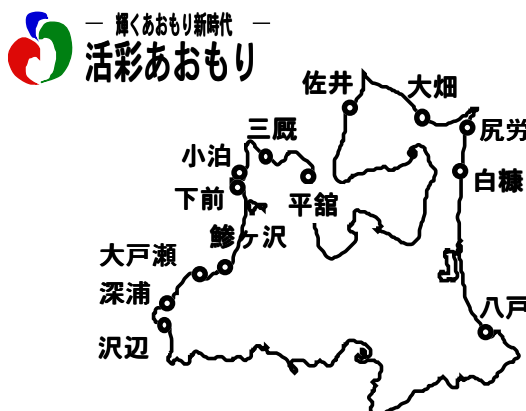
(日本海)	今回	前回比	漁期累計(12月～)	去年同期比
大 戸 瀬	1,361kg	73%	14,678kg	86%
深 浦	228kg	119%	5,269kg	93%
(津軽海峡)				
佐 井	5kg	-	3,775kg	177%
(太平洋)				
尻 労	1,508kg	97%	5,385kg	42%

○アブラツノザメ (全漁法・4月1～5日)

(津軽海峡)	今回	前回比	漁期累計(9月～)	去年同期比
鰺ヶ沢	50kg	-	14,592kg	117%

鰺ヶ沢 (4月1～5日)

ヤリイカ	底建網	56隻	4,800kg
(4,979kg)	底曳網	1隻	179kg
マダラ	底建網	6隻	31kg
サクラマス	底建網	2隻	4kg
タ イ	底建網	1隻	4kg
アブラツノザメ	底曳網	1隻	50kg



大 戸 瀬 (4月1～5日)

ヤリイカ	定置網	19隻	159kg
(7,465kg)	底建網	238隻	7,306kg
タ イ	底建網	1隻	2.0kg
サクラマス	定置網	25隻	821kg
(1,361kg)	底建網	38隻	541kg
ブ リ	定置網	1隻	2kg
(15 kg)	底建網	6隻	12kg
マダラ	定置網	2隻	15kg
(120 kg)	底建網	18隻	105kg

沢 辺 (4月1～5日)

ヤリイカ	定置網	7隻	237kg
	底建網	16隻	808kg
(1,053kg)	刺 網	1隻	8kg
ウスメバル	刺 網	6隻	46kg
マダラ	底建網	3隻	78kg
サクラマス	定置網	6隻	610kg

三 厓 (4月1～5日)
(取りまとめ中)

白 糠 (3月26日～4月5日)
(取りまとめ中)

～大切な命を守るための3つの基本～

海上に浮くこと（救命胴衣の着用）

連絡を待つこと（無線、携帯電話の活用）

救助の要請をすること（118番の活用）

沿岸各地の水温

日本海 7℃台
陸奥湾 3～5℃台

今期は多くの地域で昇温し、平均前回差は+0.1度となりました。

昨年と比べると日本海で-1.3度、津軽海峡で-0.5度、陸奥湾で-1.3度、太平洋で-0.4度となり、平均昨年差は-1.1度でした。

平年と比べると陸奥湾ではなはだ低め、津軽海峡でやや低め、その他の海域では平年並みとなりました。平均平年差は-1.5度で、かなり低めとなっています。

(4月1日～5日)

津軽海峡 7～8℃台
太平洋 6～8℃台

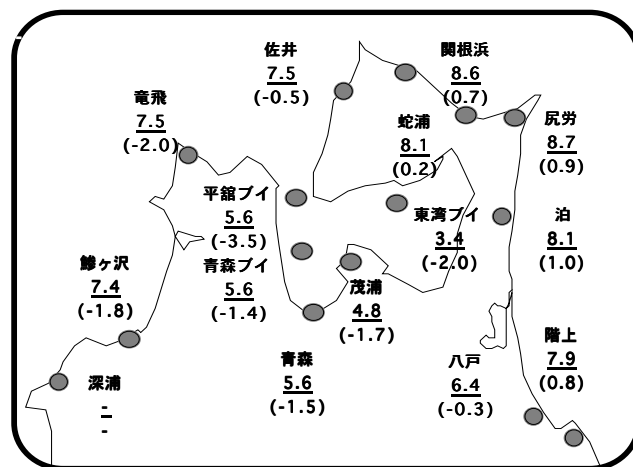


図 定地水温 (4月1～5日)
平均値 (平年差) ブイ1m

	水温	平年差	昨年差	前回差
深 浦	-	-	-	-
鰐ヶ沢	7.4	-1.8	-2.2	+0.1
竜 飛	7.5	-2.0	-2.4	+0.2
佐 井	7.5	-0.5	-0.5	-0.2
青 森	5.6	-1.5	-0.3	+0.7
蛇 浦	8.1	+0.2	+0.2	+0.9
関根浜	8.6	+0.7	+1.1	+0.2
尻 労	8.7	+0.9	-0.6	+0.1
泊	8.1	+1.0	+0.8	+0.3
八 戸	6.4	-0.3	-0.7	+0.2
階 上	7.9	+0.8	-1.2	+0.5
茂 浦	4.8	-1.7	-1.3	+0.8
平館ブイ	5.6	-3.5	-2.0	-2.3
青森ブイ	5.6	-1.4	+0.0	+0.8
東湾ブイ	3.4	-2.0	-1.1	+0.4
平 均	5.5	-1.5	-1.1	+0.1

太平洋の海況 (3月31日～4月3日)

概況；沿岸水温は7～8℃台。

○太平洋沿岸域の表面水温 7～8℃台で、前回と比べてわずかに降温しています。昨年同期と比較するとわずかに高い水温となっています。

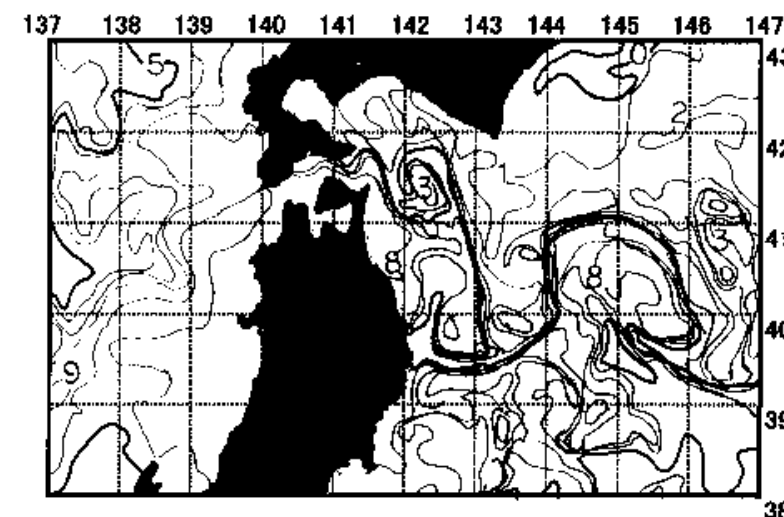
○津軽暖流の尻屋崎東方への張り出し 7℃等温線で見ると東経141度40分付近までで、張り出しは前回とほとんど変わっていません。

○親潮系冷水の南下 5℃等温線で見ると、北緯39度30分付近までで、張り出しは前回よりやや強くなっています。

日本海の海況 (3月31日～4月3日)

概況；沿岸水温は8℃台。

○日本海沿岸域の表面水温 8℃台で、前回と比べてわずかに昇温しています。これは昨年同期より1～2度低い水温です。



資料：(社) 漁業情報サービスセンター
北部太平洋海況速報 第2号4月4日

●平成17年度第1回日本海海況予報 (抜粋)

(独)水産総合研究センター日本海区水研は4月1日、関係機関の情報をとりまとめ以下のような予報を発表しました。

◎今後の見通し (2005年4月～6月)

- (1) 山形沖及び男鹿半島沖の暖水域は、北東に移動して一つにまとまる。能登半島北西の暖水域は消滅する。
- (2) 佐渡島沖の冷水域の張り出しは、やや弱い。山陰・若狭沖及び入道崎沖の冷水域の張り出しは、弱い。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は”平年並み”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部及び北部とも”やや高め”で経過する。

◎試験船情報

●試験船開運丸は来週以降、太平洋のイカナゴ稚仔調査及び日本海のいか類漁場調査を行う予定です。

●試験船青鵬丸は来週、陸奥湾においてイカナゴ稚仔調査を行います。

●試験船東奥丸は4～5日、日本海において、4月分の沿岸定線観測を行いました。その結果は下の表のとおりで、対馬暖流の表層及び50m層の最高水温が平年並、100m層がやや高めとなっていました。暖流の

対馬暖流流勢指標

4月4日～5日；東奥丸

		2001	2002	2003	2004	2005	平年差	平年比
各層最高水温 (℃)	0m	11.7	12.3	11.9	10.8	9.5	-0.15	-41
	50m	10.98	10.62	10.10	9.54	9.42	+0.39	58
	100m	9.24	10.31	9.19	8.45	9.53	+0.73	114
流幅 (マイル)	舳作線	35.8	22.7	33.9	46.8	22.7	-13.0	-102
	十三線	47.3	56.4	34.9	39.0	79.3	26.1	150
水塊深度 (m)		179	170	177	135.9	220.6	+39	102
北上流量		1.92	2.27	1.80	1.78	2.14	-0.22	-61

流幅は舳作沖ではやや狭め、十三沖ではかなり広め、対馬暖流の深さはやや深め、北上流量はやや少なめとなっていました。

対馬暖流の流勢としては、平年並みだったものと思われれます。

平成16年の青森県漁獲統計 (2) 月別には8月が一番

漁獲数量を月別にみると、8月が37,523トンで最も多く全体の12.7%、次いで7月の36,506トン、9月の33,223トンとなっていました。

また、漁獲金額を月別にみると、8月が75.5億円で最も多く全体の12.5%、次いで9月の71.5億円、7月の70.0億円となっていました。

(資料：平成16年青森県海面漁業に関する調査結果書(属地調査年報) 青森県農林水産部)